

## 農学部同窓会

NEWS  
1新しい幹事と  
研究室連絡係に期待！

昨年度の幹事会において、1回生〜15回生については会員の年齢・体調を考慮し5回毎にまとめて幹事を選任し、次のように決定しました。また、18回生並びに57回生(35-C)のクラス幹事の交代、さらに、新会員となる59回生のクラス幹事として各学科全員の総意で提案がなされ、了承されました。

クラス幹事の変更と  
59回生のクラス幹事  
並びに研究室連絡係の決定

## ● クラス幹事の変更

1～5回	橋本 実(3回)、山口満秋(4回)、鍋島邦正(新:5回)
6～10回	松田昌久(7回)、福野定男(新:9回)、西山 武(新:9回)
11～15期	芝田和典(12回)、川久保道久(新:13回)、田口恵亮(新:14回)
18回	奥田英司
59回	山崎沙弥香(59-A)、福島英晃(37-C)、田邊康祐(4-E)
57回(35-C)	山田有里菜より倉田雄基に交代
57回	天然物有機化学研究室の研究室連絡係も 山田有里菜より倉田雄基に交代

※平成23年度卒業生(第59回)研究室連絡係はP.37に記載しております。

NEWS  
2平成24年度  
農学部同窓会役員会・  
幹事会報告

平成24年4月22日(日)に、定例の平成24年度農学部同窓会役員会・幹事会を名駅キャンパス(MSAT)において開催し、第3回生から今年3月に卒業した第59回生のクラス幹事の中から約30名が参加してくださいました。平成23年度会務報告並びに平成24年度運営・活動方針を審議し決定いたしました(詳細はP.37、P.39、P.41をご覧ください)。

今回は出席できなかった幹事の方も、お時間が許す限り次回以降の幹事会にご参加くださいますようお願いいたします。なお、幹事会は農学部同窓会の最高議決機関です(農学部同窓会会則第19条)。

NEWS  
3平成23年度  
ホームカミングデイ  
報告

平成23年は、農学部29回生(昭和57年3月卒業)が当該学年として招待されました。参加者は、農学科、農芸化学科それぞれ10名弱でしたが、例年の農学部卒業生の参加者比べると多い方でした。名城食堂(旧第一食堂)で昼食後、学科ごとに記念写真を撮影。プログラムで予定されているコンサートまでの空き時間に、それぞれが卒論作成に頑張った研究室を

訪問。勉学に励んだ思い出の天白5号館は取り壊され、既に研究実験棟Iに建替わっていましたが、研究室内には卒業研究をしている後輩諸君もいて、「自分たちもあだった」と懐かしい記憶が蘇りました。そして、名城ホールでの卒業生によるコンサートなどに耳を傾けました。会場には名誉教授の橋本実先生や岡留恒丸先生の顔も。また、農芸化学科卒業の我々にとってサプライズだったのは、山下勝名誉教授(応用微生物学研究室)が体調のご都合で半時間程度でしたが、コンサート会場に顔を出してくださいました。「お会いできない」と諦めていただけに、本当に嬉しいことでした。先生が車で出発されるのを見送らせていただきました。

コンサート終了後の懇談会には、現在の学部長・大場正春先生や船隈徹先生らが出席され、クラブ活動などで一緒に汗を流した他学部の人たちとも歓談をして楽しいひと時を過ごしました。

今回のホームカミングデイの企画・準備に携わってくださった山田恵一郎君(農学科)、伊藤恵市君(農芸化学科)、校友会の役員の方々に感謝いたします。

(栄養・食品学研究室 小原章裕)



上)名城ホール、卒業生によるコンサート  
下)ホームカミングデイ宴会でのスナップ

## 会長メッセージ



農学部同窓会長  
奥田 英司  
(農・農・S46年卒)

## 農学部同窓会会員の皆様へ

昨年より毎年開催する事になりました、総会及び交流会は、多数の参加により、無事開催できましたこと皆様に感謝いたします。今後とも同窓会の発展に向け一歩一歩前進して参りたいと思っておりますので皆様のご協力、ご支援をよろしくお願い申し上げます。

さて、昨年度に引き続き今年度は総会・交流会を十一月二十三日(金)祝日に開催いたします。同窓生のご縁がこの交流の場により絆を深めていただければ幸いです。農学部の卒業生も約二万二千名になり、様々な分野にて、全国で活躍されています。そんな先輩、後輩方にお会いしてお話する機会でもあります。新しく整備された天白キャンパスの見学も兼ね、是非、足をお運びいただけますようお願い申し上げます。

又、農学部同窓会設立が昭和三十一年四月でありますので設立六十年記念事業も近々参ります。こちらのほうも皆様のご協力をもって盛大に開催致したく、企画を考えております。その際も、多くの方のご参加をお願いいたします。このように卒業生が一同に集まる事は、卒業生の交流の場を広げるだけでなく農学部の発展、延いては大学の発展に繋がっていくことと思います。



平成23年度  
農学部同窓会総会報告

平成23年度農学部同窓会総会は11月26日(土)午後4時半から名城大学共通講義棟北館N301号室にて開催されました。今回は卒業期の1桁の数字が4と9の卒業生、ならびに新卒者を中心に集っていただきました。

中村・前田両氏の司会で始まり、黙とうに引き続き、学歌を斉唱しました。

奥田同窓会会長の挨拶では、今後毎年同窓会総会を開催してゆく決意表明がありました。その後、山岸副会長から、平成22年度(2010年度)事業報告、会計報告、育英基金会計報告、ならびに平成23年度事業計画が報告されました。その後、パワポイントを使って、「農学部最近10年の歩み」が上映され、5号館の建て替えや、平成22年度の農学部創立60周年記念式典などが紹介されました。総会終了後、出席者全員で記念撮影を行いました。

奥田同窓会会長挨拶に続き、大場農学部部長ならびに船隈学術研究支援センター長から祝辞、引き続き、岡留名誉教授と橋本名誉教授に表彰を行いました。お2人は農学部同窓会設立の立役者であり、その後の同窓会の発展にご尽力されました。



懇親会の詳細 ▶ P11

らに今回、瑞宝小綬章と瑞宝中綬章を受章されたことから、懇親会でお披露目を行い、お祝いとしました。(副会長 山岸健三)

TOPICS 3

農学部人事

●退職

長きにわたり、ご指導くださり有難うございました。先生方の第2の人生でのご活躍をお祈りいたします。



安達卓生 先生  
(天然物有機化学研究室)



内藤信輔 先生  
(応用微生物学研究室)

●新任

平成24年4月1日に次の先生が着任されました。

志水元亨 先生  
(応用微生物学研究室・助教)

濱本博三 先生  
(天然物有機化学研究室・准教授)

●昇格

准教授より教授に昇格。

氏田稔 先生(生物化学研究室)

●訃報

名誉教授・小山宏先生(農芸化学科栄養・食品学研究室教授)が平成23年12月に亡くになりました。心よりご冥福をお祈り申し上げます。

TOPICS 4

●会員表彰

平成23年度総会(平成23年11月26日)の懇親会の席で、会員を対象とした表彰が行われました。今年度は、平成22年度秋季、平成23年度春季にそれぞれ叙勲を受けた2名の方を表彰しました。



岡留恒丸 氏  
(農・農・S31年卒)



橋本 実 氏  
(農・農・S31年卒)

●準会員表彰

平成24年3月16日、ホテルグランコート名古屋において農学部卒業祝賀会が行われました。その席で、表彰規定に基づき同窓会長より表彰されました。



生物資源学科  
大畑佑斗 氏

●準会員への記念品贈呈

農学部卒業祝賀会において全卒業生に対して記念品として研究室毎の集合写真などが掲載された農学部同窓会史を贈呈しました。

TOPICS 1

第5回生より農学部同窓会へ寄付をいただきました。

平成23年11月に第5回生の皆様より農学部同窓会へ33,000円のご寄付を賜りました。このお金は5回生の皆様が平成12年9月に開催された農学部同窓会創立50周年式典に合わせて学年

会を開催され、次回のために残された残金をご寄付いただきました。早速、農学部同窓会一般会計に組み込み、有効に使わせていただきます。有難うございました。

TOPICS 2

第59回生から東日本大震災被災地に対する義援金について

3月19日の学位授与式の日に行われた農学部卒業祝賀会に59回生卒業生有志が1年前に発生した東日本大震災の被災地に義援金を送ろうと計画しました。当日は、学部長をはじめ多くの先生方及び59回生皆様のご厚意により93,309円が集まりました。名城大学は気仙沼大島地区を中心的に復興支

援しており、義援金はこのプロジェクトに学務センターを通じて寄付をさせていただきました。ご協力をいただき、誠に有難うございました。



平成24年度 農学部同窓会総会ご参加のお願い

会員の皆様、お元気にお過ごしのことと思います。平成24年度農学部同窓会総会を次の日程で開催いたします。万障繰り合わせ、多数のご参加をお願いいたします。プログラムなどの詳細は、農学部同窓会ホームページでお知らせします。また、連休の初日に当たりますので、総会に続いて学年会を開催していただくのも結構かと思っております。学年会のための会場などにつきましても、ご相談をいただきましたら大学近隣の店をご案内いたします。なお、会員の皆

様への案内はお送りいたしません。この記事をみられた方は、できるだけ沢山の同期の方と誘い合っでご参加ください。(企画・総務係)

総会	日時:平成24年11月23日 15時より 場所:名城大学天白キャンパス 共通講義棟南 S202
懇親会	時間:総会終了後 場所:タワー75 15階 多目的ホール 会費:3,000円

生物資源学科 作物学研究室  
道山弘康教授・平野達也准教授

作物学研究室は道山と平野の教員体制となって14年目となります。今年の研究室は修士課程2年が1人、4年生が12人で、平日は午前9時から仕事を開始するという研究室の方針のため、作物研を希望する学生が少ないのは相変わらずです。しかし、専攻学生たちの頑張りや科研費などの外部資金による支援のおかげで研究成果は着々と挙がっており、ここ数年はほぼ毎年国際誌に論文を発表しています。海外での調査研究も活発に実施し、昨年11月には道山と平野がラオスの浮稲栽培調査に、今年の3月には道山がJICAの要請でブルキナファソのゴマ栽培調査に出かけました。卒業発表会後に同窓会を開催。例年、30名余りの卒業生が参加しています。昨年度の発表会では、卒業生が4年生に対して教員以上に厳しい質問を浴びせて、4年生がたじろに。今後同窓会開催についてはHP上で掲示します。時間があればぜひ参加してください。皆さんに会えるのを楽しみにしています。

応用生物化学科 応用微生物学研究室  
加藤雅士教授・志水元亨助教

2010年4月に先代の市原茂幸教授から引き継ぎ、既に2年が経ちました。人類に役立つ微生物研究の流れを汲んで、麹菌や酵母などの醱酵・醸造に重要な微生物の性質を分子・遺伝子レベルで解析したり、新薬開発につながる微生物の探索を行っています。2012年3月には、長年、教育・研究にご尽力された内藤信輔先生がご退職をされました。先生の予てからの研究対象である「抗真菌物質を生産する放線菌」が学会での関心を集め、独立行政法人・産業技術研究所との共同でゲノム配列が決定されました。この成果は日本ゲノム微生物学会にて発表されました。2012年4月には筑波大学より志水元亨(しみずもとゆき)助教が着任しました。若くて何事にも挑戦的な先生の気質が研究室に新風を吹き込むこととなります。また、得意とするタンパク質の網羅的解析(プロテオーム)の手法を用いた、応用微生物学研究的のさらなる発展が期待されます。

生物環境化学科 植物保全学研究室  
汪 光昭教授・横内 茂講師

植物保全学研究室は、一般教養の植物学研究室に始まり、植物資源学を経て現在の研究室へと変遷してきました。本研究室は、研究実験棟Iの4階にあって、広いとはいえない空間に2名の教員の指導の下、今年度は院生1名と4年生18名が研究を行っています。そして専攻生諸君は、主に教員の専門分野を中心に研究テーマを決定し、愛知県を始めとし、国内外の絶滅危惧植物を対象として分類学的、生態学的並びに遺伝学的手法によって野生植物の多様性、環境応答特性の解明を進めています。

この春の卒業生は、他大学大学院進学、教員、公務員をはじめとして多様な場を得て活躍を開始しました。また4月には、院生が日本雑草学会での発表に対して、学費より「ベスト講演賞」を受賞しております。

附属農場 フィールドサイエンス研究室  
土屋照二教授・森田隆史准教授  
中尾義則准教授・林義明准教授

フィールドサイエンス研究室は、平成19年度に附属農場内に新たに設置され、農学部3学科から果樹園芸学・野菜園芸学・花卉園芸学・畜産学分野に専攻生を受け入れています。現在、各分野には中尾義則准教授、森田隆史准教授、土屋照二教授、林義明准教授が就いています。農場教員の過剰負担を避けるため、各教員が各学科から受け入れる専攻生は2人以内となっています。19年度以前にも生物資源学科の学生の指導をしていましたが、14年度は土屋1人のみで、15・16・19年度に中尾、森田、林が順次加わり現体制になりました。19年度以後の専攻生数は6・10・5・11・12人で、現4年生は13人です。

研究室の特徴は、研究課題が実地に基づくものが多いこと。また、専攻生は3学科の学生が一緒に活動すること、農場行事への参加が義務付けられているため教員以外の農場スタッフや市民とも接することから、コミュニケーションの良い訓練になっています。

研究室便り

今年度から、各学科一研究室ごとに卒業生の皆様に研究室の近況を報告します。会員の皆様へ出身の研究室の記事が何時出るのか?楽しみにしてください。



農学部同窓会名簿

任期 平成23年5月1日～平成25年4月30日

役職	氏名	卒年
会長	奥田 英司	S 46
副会長	市川 徹男	S 47
	永井 孝	S 51
	山岸 健三	S 48
	中西 孝徳	S 52
書記	林 利哉	H 4
	平児 慎太郎	H 7
会計	氏田 稔	H 2
	平児 慎太郎	H 7
会報	小原 章裕	S 57
	山田 恵二郎	S 57
	中山 仁	H 4
名簿	佐々木 優	H 17
	下野 昌幸	S 51
企画・総務	柴山 美親	S 49
	小原 章裕	S 57
	伊藤 恵市	S 57
	田中 幹子	H 1
育英基金 運営委員会	今泉 進	S 53
	前田 省三	S 56
会計監査	横内 茂	S 46
	小深田 輔夫	S 37
	芝田 和典	S 40
常任幹事	横内 茂	S 46
	田中 繁男	S 46
	山岸 健三	S 48
	小原 章裕	S 57
	氏田 稔	H 2
	林 利哉	H 4
	平児 慎太郎	H 7
	佐々木 優	H 17

平成24年卒  
農学部研究室連絡係

生物資源学科	研究室	連絡係
園芸学研究室	大畑 佑斗	
遺伝育種学研究室	栗田 将吾	
作物学研究室	岩田 祐明	
植物病理学研究室	伊藤 純平	
昆虫学研究室	鈴木 彩夏	
生物資源経済学研究室	石井 寛人	
植物分子遺伝学研究室	加藤 益大	
応用生物化学科		
栄養・食品学研究室	辻 将典	
農業化学研究室	池戸 仁	
応用微生物学研究室	吉田 幸代	
食品機能学研究室	村橋 誉将	
生物物理化学研究室	竹内 友哉	
生物化学研究室	福島 英晃	
(応用生物化学科学年幹事)		
天然物有機化学研究室	浅井 直輝	
生物環境科学科		
植物保全学研究室	伊藤 玄	
環境動物学研究室	鈴木 ふみ	
ランドスケープ・デザイン学研究室	田邊 康祐	
(生物環境科学科学年幹事)		
環境微生物学研究室	木村 真梨子	
環境分析化学研究室	松尾 光樹	
環境土壌学研究室	武智 まり奈	
植物機能科学研究室	戸川 勇士	
附属農場		
フィールドサイエンス研究室	山崎 沙弥香	
(生物資源科学科学年幹事)		